

平成24年度事業報告

豊川市国際交流協会は、平成2年4月1日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成24年度は、国際理解を深めるための各種講座や交流会事業、また在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等の多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

また、平成24年度は公益財団法人としての初年度でもあり、より公益性、公平性を高めながら事業を実施することに務めました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、時代に即した事業を積極的に行うことで、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

①オイスカ中部日本研修センター青年研修生との交流会

時 期 平成24年5月17日（木） 午後6時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 36人（うちオイスカ研修生5人）

内 容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ「中部日本研修センター」に滞在している開発途上国の青年研修生5人と指導員2人を、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め各種農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を通して情報交換と国際理解を図りました。

②ホームステイによる外国人研修生との交流会

・財団法人日本国際協力センターの依頼により、21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）インドネシア大学生訪日団を受け入れ

時 期 平成24年5月11日（金）夕方から5月13日（日）夕方
場 所 ホストファミリー宅
参加留学生 21人
ホストファミリー 11家族

・姉妹提携都市アメリカ・キュパティノー市使節団が来豊し、引率者のホームステイの受け入れ

時 期 平成24年6月27日（水）から7月3日（火）
場 所 ホストファミリー宅
引率者 4人
ホストファミリー 3家族

・外務省実施の「アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流（キズナ強化プロジェクト）」により、大洋州にあるクック諸島及びニウエから大学生を受け入れ

時 期 平成24年9月21日（金）夕方から9月22日（土）夕方
場 所 ホストファミリー宅
参加留学生 9人
ホストファミリー 5家族

・外務省実施の「キズナ強化プロジェクト」により、タイ大学生訪問団が来豊し、受け入れ

時 期 平成24年11月30日（金）夕方から12月2日（日）昼
場 所 ホストファミリー宅
参加留学生 7人
ホストファミリー 3家族

③キッズワールド・サマースクール

時 期 平成24年8月5日（日） 午後1時30分から
場 所 鳳来寺山、旧鳳来寺高校、旧門谷小学校（新城市）
対象者 小学校4、5、6年生
参加者 60人（子供30人、外国人10人、日本人おとな20人）
内 容 子供たちの国際化への関心を深めるため、ゲームや野外活動を通して外国人との交流を図りました。

④たなばた交流会

時 期 平成24年7月7日（土） 午後1時30分から
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
参加者 51人（うち外国人12人）

内 容 日本伝統行事七夕祭りにふれながら、日本人と外国籍の方との交流を図りました。子供が主な対象でしたが、大人の参加も多く、七夕飾りづくりや折り紙、クイズ、紙芝居などを楽しみました。

⑤お月見交流会（台風17号により中止）

時 期 平成24年9月30日（日） 午後7時から
場 所 市勤労福祉会館 協会前玄関スペース

⑥ワールドフェスティバル2012

時 期 平成24年11月4日（日） 午後1時から
場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール
参加者 233人（うち外国人59人）
内 容 南米の踊り、日本語教室の生徒による歌謡ショー、参加者全員でのゲームや餅投げ、世界各国の軽食と飲み物を味わいながらの交流を通し、相互理解と国際理解を深めました。

⑦節分交流会

時 期 平成25年2月3日（日） 午後1時30分から
場 所 市勤労福祉会館 和室
参加者 61人（うち外国人13人）
内 容 豊川市に住む日本人や外国人に日本の文化である節分の行事を、子供たちが楽しめるよう童話の絵本の読み聞かせやオカリナの演奏に合わせた民謡や踊り、また豊川市諏訪地区のイメージキャラクターのすわポンを招き、一緒に豆まきを行うなど、相互理解と国際理解を深めました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともにホームステイや翻訳・通訳、日本文化体験、諸外国の文化紹介、日本語学習などの要望に対し、登録ボランティアを紹介することにより、地域の国際化を推進するための人材育成と市民活動の活性化を支援しました。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

・機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換や

ボランティア活動における課題について話し合う意見交換会の開催

・毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

・おいでん祭で、ラテンアメリカの文化や協会事業などを紹介しました。

③外国人市民を始めとした市民や関係機関からの要請や問い合わせに対し、登録ボランティアの紹介

(2) 国際理解講座

人権・環境・多文化・平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会を行うことにより、市民に向けた国際理解の取り組みを推進する。

①日本語ボランティア養成講座

時 期 平成25年2月16日(土)、23日(土)、3月2日(土)の3日間 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 研修室

講 師 名古屋YWCA学院日本語講師

伏見 由美 氏

山田 慶江子 氏

受講者 24人

②文化講座

どんな国シリーズとして、第1回目は豊川市在住でブラジル出身の方を、第2回目はインドネシア共和国出身で豊橋在住の方を講師に招き、それぞれの国の歴史・風俗・習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

・第1回目 「ブラジルってどんな国」

時 期 平成24年9月2日(日) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 井田 パトリシア 氏 (ブラジル出身)

参加者 55人

・第2回目 「インドネシアってどんな国」

時 期 平成25年2月23日(土) 午後2時から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 プス マヤ ブティ 氏 (インドネシア共和国出身)

参加者 63人

③世界の料理教室

世界の食文化を理解するため、さまざまな国の料理の作り方を学びました。これまで、スリランカ、イタリア、スペイン、フランス、韓国、ロシア、日本、中国、タイ、シリア、ブルガリア、マレーシア、ベルギー、ブラジル、ナイジェリアなどの料理について専門講師による講習を受けました。

今年も2か国の家庭料理の作り方を学び、その国の食文化を理解しながら国際理解を深めました。

・第1回目 「イタリア家庭料理教室」

時 期 平成24年6月24日（日） 午前10時から

場 所 市勤労福祉会館 調理実習室

講 師 鈴木 江里子 氏

参加者 45人

内 容 ブルスケッタ、ボロネーズソースパスタ、セロリとオレンジのサラダ

・第2回目 「ペルー家庭料理教室」

時 期 平成25年2月16日（土） 午前10時から

場 所 市勤労福祉会館 調理実習室

講 師 平野 エスペランザ 氏

参加者 39人

内 容 カウサ レジェナ(ペルー風ポテトサラダ)、エストファド デポジョ (ペルー風チキンシチュー)、レチェ アサダ (ペルー風焼きプリン)、アロス アル エスティロ (ペルー風ガーリックライス)

④チェコの夕べ

愛地球博でフレンドシップ国であったチェコ共和国出身のチェロ演奏第一人者と同国出身ピアニストによる演奏会を開催し、ドボルジャークやマルチヌー一等チェコを代表する作曲家の楽曲の紹介と「ふるさと」の演奏による音楽交流やチェコ部会の活動紹介を通し、チェコ共和国やその音楽に対して、理解を深めました。

時 期 平成24年7月27日（金） 午後7時から

場 所 音羽文化ホール

出演者 シモン ヴェイス (チェロ)、ヘレナ ヴェイソヴァー (ピアノ)

入場者 335人

⑤ボランティア研修

市内の名所、旧跡への見学を通し、海外から豊川市を訪れる方々に豊川市を紹介する際に役立つ研修を行い、ボランティア活動の充実の一助としました。

時 期 平成24年12月8日(土) 午前8時30分から
見学施設 兎足神社、豊川稲荷、国分尼寺、東三河ふるさと公園
参加者 20人

(3) 姉妹都市等の交流

豊川市の姉妹都市や友好関係のある国へ青少年を派遣し、異文化体験や交流・相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

①高校生海外派遣事業

豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」(トリード国際姉妹都市協会が主催する青少年交流事業)に4名の市内在住の高校生を派遣しました。ことしも世界10カ国の姉妹都市の同世代の青年に参加の呼びかけがあり、英語の講義のほか、各国青少年の文化交流及び相互理解を目的としたカリキュラムの授業への参加やホームステイ先での生活体験を通じ、次代を担う若者の国際的視野を広め、世界の同世代との友好を深めました。

時 期 平成24年7月21日(土)～8月7日(火) 18日間
訪問先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市
参加者 本市の高校生4人

(4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。各講座とも90分の12回コースで実施。

①英会話講座(定員各25人、英語ボランティアガイド入門は20人)

ア 基礎英会話

平成24年5月7日～7月30日 参加者23人

イ やさしい英会話

平成24年5月8日～7月31日 参加者17人

ウ 英会話初級A

平成24年9月4日～11月20日 参加者19人

エ 英会話初級B

平成24年9月5日～11月21日 参加者23人

オ 英語ボランティアガイド入門

平成25年1月8日～4月2日 参加者19人

カ 楽しいディスカッション(英語)

平成25年1月8日～3月26日 参加者20人

②韓国語会話講座（定員20人）

ア 楽しいハングル1

平成24年9月5日～11月21日 参加者16人

イ 楽しいハングル2

平成25年1月9日～4月3日 参加者17人

③中国語会話講座（定員20人）

ア 使える中国語1

平成24年9月6日～11月29日 参加者22人

イ 使える中国語2

平成25年1月10日～3月28日 参加者22人

④スペイン語会話講座（定員20人）

・ やさしいスペイン語

平成25年1月9日～4月3日 参加者14人

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

①日本語教室の開催

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

・夜クラス

時 期 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分から午後9時まで
1期5か月で修了。年2回開講。

場 所 市勤労福祉会館 第1会議室ほか

受講者 156人

講 師 協会部会のボランティア

内 容 入門から上級まで、6クラスに編成して開講。

・ひるまクラス

時 期 平成24年11月6日～平成25年2月28日の月曜日から
木曜日 午前10時30分から午前12時まで

場 所 プリオビル5階
受講者 11人
講 師 協会部会のボランティア
内 容 入門から上級まで、グループ編成或いは個人レッスン。

②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活にかかわる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、小・中学校を通して配付しました。

年間12回発行 1回570部（学校分490部）

③日本語スピーチコンテスト（第3回）

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通しての考え方や伝えたいことを発表し、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

時 期 平成24年11月11日（日） 午後1時30分から

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 小・中学生の部 2人

協会会長賞 「今のぼくにできること」 谷口 タケシ 君（代田中3年）

高校生以上一般の部 5人

協会会長賞 「人生の壁」 和田 明 君（アレグリア デ サベール高1年）

なお、小・中学生の部から2人、高校生以上一般の部から3人が東三河スピーチコンテスト（平成25年1月20日開催、会場：蒲郡市民会館東ホール）へ出場しました。

（2）ペクラ事業

市内に在住する外国人の60%以上を占めるラテンアメリカ籍の子どもたちへの日本語教室及び母国語教室を開催し、子どもたちが日本語や母国語で円滑なコミュニケーションをとれるよう学習支援などを実施することで、多文化共生社会づくりの推進を図りました。

①ポルトガル語、スペイン語、日本語教室の開催

時 期 4月～3月の第1、2、3土曜日（第4土曜日は日本語教室のみ）
の午後2時から午後5時まで、年間30回開講

場 所 市社会福祉会館（ウィズ豊川）

参加者 50人（小・中学生）

講 師 協会部会のボランティア及び専門講師

内 容 母国語、日本語の学習、4クラス編成、中学生の教科指導

②中学生以上の学習支援

時 期 4月～3月の毎週火曜日～土曜日の午後7時から午後9時まで、
年間240回開講

場 所 プリオ生涯学習会館（プリオ豊川4階）

参加者 11人（中学3年生、高校生）

講 師 協会部会のボランティア

内 容 高校入学、在学のための学習指導

③アトリエの開催

時 期 4月～3月の第1、2、3土曜日の午後6時から午後9時まで、
年間30回開催

場 所 市社会福祉会館（ウィズ豊川）

参加者 15人（小・中・高校生）

講 師 協会部会のボランティア

内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子供たちに母国の文化の伝承と意識付けを図りました。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

①ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談総件数（スペイン語） 116件

内訳 生活情報 84件

労働問題 7件

出入国関係 5件

その他 20件

(4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに貢献しました。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

①機関誌「We」の発行

発行回数：年4回（5月、8月、11月、2月）

発行部数：1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォーマ」スペイン語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォーマ」の翻訳

発行回数：年12回

発行部数：2,000部/月

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供し、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

市内及び近隣地域に在住する外国人と日本人が、日常生活の中で感じていることを本音で語り合う会「ざっくばらんに話そう」を開催し、外国人市民と日本人市民の相互理解を深め、外国人市民が安心して暮らしていけるよう何をすべきか、今後、本協会が取り組んでいかなければならない事業の洗い出しを行いました。

①「ざっくばらんに話そう」（第2回）

時期 平成24年10月7日（日） 午後2時から

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 51人（関連国として、ブラジル5人、ペルー9人、オーストラリア1人、アメリカ1人、日本35人）

附属明細書

平成24年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。